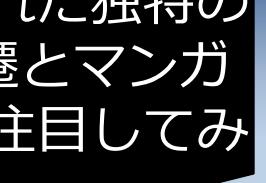
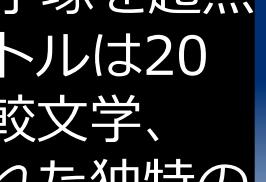
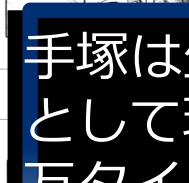
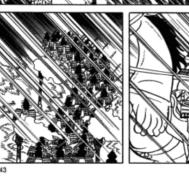
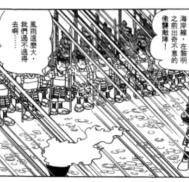


手塚治虫マンガデジタルライブラリ購読スタート！



手塚は生涯で15万枚の原稿を描き、約700タイトルの作品を遺した。手塚を起点として現在に至るまでにプロのマンガ家の手によって発表されたタイトルは20万タイトル以上に及んでいます。ゲーテやドストエフスキーなどの比較文学、『ブラック・ジャック』や『火の鳥』など、マンガのなかに織り込まれた独特の思想や哲学、歴史検証としてマンガが果たす役割、マンガ表現の変遷とマンガの芸術性の考察等含め、様々な角度から、日本を代表するマンガ家に注目してみませんか？

※サービス提供開始日：

2016年8月1日から

※問い合わせ先：

大阪芸術大学図書館

※ URL:

<http://www.mymanga365.com/tezuka/>

手塚治虫マンガデジタルライブラリ購読スタート！

Tezuka Osamu Manga Digital Library

Browse | Search | About Tezuka Osamu | Guide | Logout

Dear reader, welcome to Tezuka Osamu Manga Digital Library.

Select Collection

- English
- Japanese
- Traditional Chinese

Index

All

あ か
さ た
な は
ま や
ら わ

History

Result

Japanese > All > 罪と罰

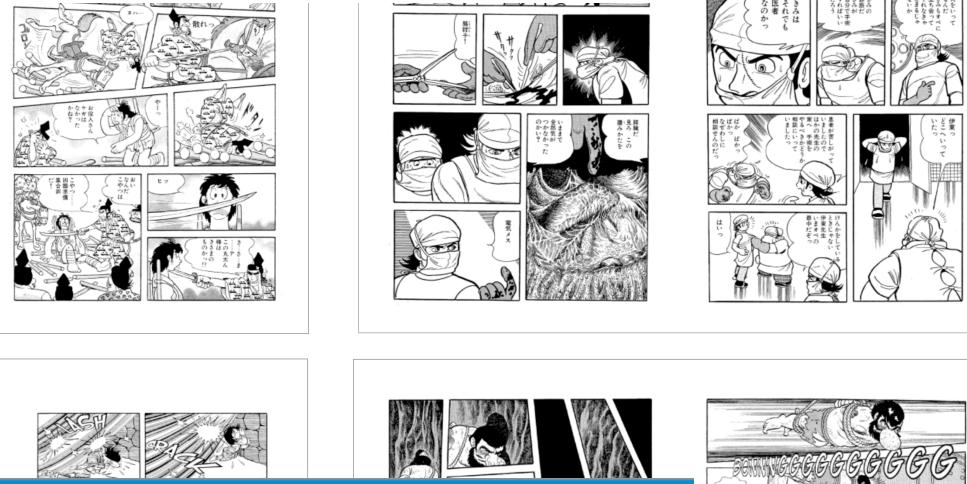
罪と罰

1953年11月5日 単行本 (東光堂)

手塚治虫は25歳という若さでドストエフスキーの『罪と罰』をマンガ化している。貧しい学生・ラスコニコフは、金貸しのアリョーナを殺して金を盗む。自分は凡人ではなく英雄になる人間だと勝手に妄想し、英雄である自分が貧乏で苦しむ世間は間違っている人殺しを正当化させるのである。だが、殺してからは毎日呵責に苛まれ、生きる道を見失いそうになる。そんななか、父親に虐待にされた不幸な娘・ソーニャと出会う。ラスコニコフはソーニャに救いを求め、学生の暴動が始まった町の広場の地面に接吻して自分が殺したことを大声で告白する。手塚版『罪と罰』はここで終了するが、原作はその後物語が続き、刑務所に収容されたラスコニコフが面会に来るソーニャと共にいつか見ることが出来る幸せな日を望みつつ、曙光がふたりを照らすところまで描かれている。

Read

List Of 罪と罰



手塚は生涯で15万枚の原稿を描き、約700タイトルの作品を遺した。その表現手法と物語構成はそれまで他者が描いてきた漫画作品とは一線を画し、手塚以後に生み出されたマンガ作品のほとんどすべてに影響を与えました。比較文学、思想・哲学、歴史学、漫画の図像学等からぜひ学術研究対象としての手塚治虫マンガデジタルライブラリをご堪能ください。

※サービス提供開始日： 2016年8月1日から
※問い合わせ先： 大阪芸術大学図書館
※ URL: <http://www.mymanga365.com/tezuka/>